

地域おこし協力隊

秩父市内外のお友達もちちぶ銘仙館に来てくれました



今年も高篠小、南小、秩父西小、吉田小に銘仙の出前授業へ行ってきました。コロナの影響で授業数が減っている中で、ありがたく思います！

銘仙についての勉強が1時間、巾着の型染体験が1時間です。中には飛び抜けた美的センスの持ち主がいて、巾着の出来上がりを見るのがとても楽しかったです。

また、秩父第一小・秩父西小・久那小の児童たちが、ちちぶ銘仙館に遊びに来てくれました。銘仙の羽織を着たりして、今話題の“鬼滅”風の姿になりましたね。(鬼滅の刃の登場人物が制服の上に着ているのは“羽織(はおり)”といいます。)荒川幼稚園、横瀬町の小学生や皆野町の中学生も遊びに来てくれました。

たくさん子どもたちがちちぶ銘仙館に来てくれるのを待っています。(岩野)

着任から1年が経過しました

着任早々の緊急事態宣言。思えば戸惑いの中で始まった秩父生活でした。環境の変化は引越しによるものなのか、感染対策によるものなのか。よく分からないまま、春にはタケノコやワラビ、夏にはキュウリやミョウガ。いただきものの新鮮野菜に舌鼓を打ちながら、楽しく過ごしました。

協力隊の活動では、5月にネットショップを立ち上げました。まだまだ弱小ですが、現在、北は岩手、南は福岡からご注文いただいています。秩父銘仙をより広く、ゆくゆくは国境を越えて……という夢を抱きながら、今年度も続けて行く予定です。

銘仙の製造工程も少しずつ学び、今春までにはオリジナルの布が織りあがる予定です。「お祭りが無いのは淋しいでしょう？」と聞かれることがあります。まだ経験していないので淋しく思うことすら叶いません。不安のない中で秩父自慢の祭りを楽しめる日が来ることを、今は慌てずに願っています。(本多)



▲ちちぶ銘仙館
オンラインショップ



▲制作中の織物
デザインから手掛ける

商工課

☎25-5208

地域おこし協力隊
岩野 倫代・本多 雅



ちちぶ銘仙館
フェイスブック



地域おこし協力隊
フェイスブック

消費生活センターからのお知らせ

リチウムイオンバッテリーの 事故を防ごう

リチウムイオンバッテリー(以下LIB)は1990年代に登場した、充電して繰り返し使える蓄電池です。軽量・高電圧・大電力のため急速に普及しました。

モバイルバッテリー(スマートフォンやタブレットを充電する予備の電源)やノートパソコン、電動工具、加熱式たばこなど、多くの身近な製品に使われています。

しかし、正しく取り扱いしないと発火・発熱することがあり、火災やケガにつながる可能性があります。関係機関が注意喚起をしています。

事例1

スマートフォン用のモバイルバッテリーを充電していたら、煙が出て発火し、指もやけどした。

アドバイス

手元の製品がリコール対象製品

になっていないか、消費者庁リコール情報サイト等で確認してください。

2019

年2月からは、技術基準を満たしていることを証明するPSEマークのない製品は販売禁止です。また、衝撃・圧力・熱を加えず、水ぬれをさせないよう注意してください。

事例2

自治体のごみ収集車から発火した。原因は、ごみに交じっていたLIBが収集車内で押しつぶされて内部が破損し、発火したためだった。

アドバイス

廃棄する場合、取り扱い説明書などで廃棄やりサイクル方法を確認し従ってください。(一社)JBRCのウェブサイトで、会員企業の製品を回収する協力店を検索できます。

事例3

充電式掃除機に、メーカー指定の純正品ではないバッテリーを通販販売で購入し使用したところ、発火した。

アドバイス

非純正品は安全性の観点から慎重に購入してください。使用中、異常が見られた場合は、すぐに使用をやめて販売・製造・輸入事業者などに相談してください。

秩父市消費生活センター

毎週月～金曜日(祝祭日はお休み)
午前9時～正午、午後1時～4時
☎25-5200